

省エネ機器実用化を補助

京都市、光響の事業採択

京都市は、大幅な省エネ化が期待できるパワーエレクトロニクス向けの補助制度で、レーザー加工メーカー光響(西京区)の開発事業を採択した。事業費の2分の1を上限に最大300万円の補助金を交付する。

補助金は、炭化ケイ素(SiC)や窒化ガリウム(GaN)などの次世代パワー半導体の量産に使うレーザー加工装置の開発に活用する。(柿木拓洋)

補助制度は、市内の中小・スタートアップを対象に電力消費量を大きく減らす革新的なデバイスや産業機器などの実用化を支援する狙い。本年度は2件の応募があった。光響は2009年創